

令和6年7月5日（金）県大会壮行会

天下の富士見ここにあり

最初にお話をしたいのは、地区予選で惜しくも敗退をした部の生徒、特に3年生に対してです。予選会で皆さんが全力で試合に臨んでいた様子はよく見ていました。よく頑張りました。県大会出場がかなわなかったり今大会で区切りをつけたりして、引退をするわけですが、この経験は皆さんの糧、財産になります。これからの生活に活かしてください。

地区予選を勝ち抜き県大会に出場を果たす選手の皆さん、まずはおめでとうございます。先ほど、それぞれの決意の言葉を聞きました。とても立派でした。これから始まる県大会での活躍が楽しみになりました。県大会という大きな舞台に立てるというのは、本当にありがたいことだと思います。これまで以上に高いレベルの中で、自分の限界がどこなのか、力試しをすることができるからです。その上の大会（関東大会・全国大会）も目指してください。

部活動だけではありません。ダンスで全国規模の大会に出場する友光さん、サッカー、クラブユースの関東大会を勝ち抜き、全国大会に出場する加々美さん（加々美さんは所属するFC LAVIDAのキャプテンを務めているそうです。）活躍を楽しみにしています。

フジミチの掲示板に、「富士見中ここにあり」という言葉が小さく掲示されています。この言葉をみると、30年以上前、当時の本校校長・岡島一夫先生が、このような壮行会の際に毎回のようにお話になっていた様子を思い出します。岡島先生は、全校生徒を前に「『天下の富士見ここにあり』との誇りをもって戦いなさい」とお話になります。「天下」というのは「この上なく素晴らしい」という意味だと思っています。

改めて、県大会等に出場する皆さん！「天下の富士見ここにあり」を県下に示してください。富士見の誇り、プライドを胸に戦ってきてください。ここにいる全校生徒は皆さんのことを応援しています。

吹奏楽部や音楽部のコンクールもこの夏に大詰めを迎えます。これまでの練習の成果を発揮してください。演奏、合唱を聴くのを楽しみにしています。

みなさんの健闘を祈り、私からの激励の言葉とします。

熊谷市立富士見中学校長 田沼良宣